

【ランランバス通信 寄稿文】

月見山・長寿ガ丘地区と駅を結ぶコミュニティバス「ランランバス」が、日々住民の皆様様の移動を支える公共交通としてこの5年間運行を継続されていることに、深く敬意と感謝を申し上げます。買い物や通院、地域活動への参加など、皆様様の暮らしを支えることは、高齢化が進む今、月見山、長寿ガ丘地域の活力にもつながります。

国土交通省では、「交通空白」の解消と、持続可能な地域交通の構築を最重要課題と位置付け、地方自治体や交通事業者、地域の多様な関係者の連携・協働による「共創」実証運行や、DX・GXによるバス運行の省力化・経営改善支援など、多角的な施策を進めております。

コロナ禍に始まり、地域に根差した皆様様の創意と工夫により様々な企画がこれまでも実施されたとお聞きしました。皆様に親しまれ必要不可欠な移動手段となることが未来の公共交通をつくります。国土交通省でも、ランランバスに対して、地域公共交通維持確保事業（地域内フィーダー系統補助）によるご支援を行っており、これからも安心して快適な移動を提供し、住み続けられるまち、また行動しやすいまちを実現できるよう国としても引き続き後押ししてまいります。

最後に、地域約3000人の皆様様が共に歩み、安心と笑顔あふれる宝塚のまちに築き上げていかれることを心よりご祈念申し上げ、私からのご挨拶とさせていただきます。

国土交通大臣

衆議院議員 中野洋昌